

中部横断自動車道(長坂～八千穂)

長野県区間に係るルート帯とインターチェンジ概略位置の提示をうけて

中部横断自動車道は、南佐久地域での救急医療体制の支援や高原野菜の効率的な出荷に留まらず、高速道路ネットワークとして県内外の様々な地域間の交流促進が期待される重要な高速道路です。

4月28日には、八千穂高原 IC から佐久南 IC まで開通し、その効果を実感しているところです。

この度、計画調整会議（第2回）が開催され、未整備区間である（仮）長坂ジャンクション～八千穂高原 IC のうち、長野県区間における1キロメートル幅のルート帯及びインターチェンジの概略位置が提示されました。このことは、環境アセスメント調査を進めるための大きな一歩であり、国土交通省のご尽力に対しまして心より感謝申し上げますとともに、早期全線開通に向け引き続き事業推進をお願いいたします。

長野県といたしましても、一日も早い全線開通に向けて、国土交通省や山梨県、沿線自治体と連携し、地域の合意形成等に積極的に取り組んで参ります。

平成30年7月11日

長野県知事 阿部 守一